

明治四十年より大正三年に至る七年間、
適して二〇九件以下、一年平均三十件弱
(参加人員一年平均五七四人一件平均一六二人
強)に過ぎず、大正三年以降、大正七年
に至る戦乱継続の期間に於てハ、一〇三七件
一年平均二〇七件(参加人員一年平均
二九、五八七一人一件平均一四三人弱)に達し、年ト共ニ
増加したるハ別表、示す如シ

唯、休戦來ノ過渡期ニハ一時其ノ勢ヲ熾
スルカ忽ニシテ、而テ増加ノ勢ヲ来タシ、大正八
年ハ實ニ我國ニ於ケル最高記録ト
シテ、四九七件参加人員六三、一三七人ヲ兼シ
タリ

次テ大正九年、年中、初ノ間ハ大正八年勢
ヲ持續シタルモ、三月經濟界ノ反動發
生以來、領ニ減退シタル為メ、結局、今年
ヲ以テ、件數三二二件参加人員三六、六一